

平成 30 年 6 月 6 日
株式会社あおぞら銀行

NEWS RELEASE

事業承継ファンド「サクセッション1号投資事業有限責任組合」に対する、 地域金融機関による新規出資について

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)：馬場 信輔、本店：東京都千代田区、以下「当行」）と日本アジア投資株式会社（代表取締役社長：下村 哲朗、本社：東京都千代田区、以下「JAIC」）は、日本国内の中小企業の事業承継問題解決と地域創生を目的とする事業承継ファンド「サクセッション1号投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」）を、平成 29 年 6 月 26 日に共同で設立しております。

このたび、新たに株式会社鳥取銀行（代表取締役頭取：平井 耕司、本店：鳥取県鳥取市）、株式会社きらやか銀行（代表取締役頭取：栗野 学、本店：山形県山形市）、株式会社富山銀行（代表取締役頭取：齊藤 栄吉、本店：富山県高岡市）、および株式会社宮崎太陽銀行（代表取締役頭取：林田 洋二、本店：宮崎県宮崎市）が当ファンドへ出資することとなりましたのでお知らせします。

また同時に、当ファンドの無限責任組合員について、JAIC から、当行と JAIC が合弁で新たに設立した AJ キャピタル株式会社（代表取締役社長：小林 正行、本社：東京都千代田区）へ変更いたします。

なお当ファンドに対しては、さらに 10 行以上の地域金融機関が出資を検討中であり、ファイナルクローズ時点で 30 億円規模まで拡大することを予定しております。

当ファンドは、地域金融機関の皆さまのお取引先である中小企業の事業承継問題に対し、当行と JAIC の長年に亘る M&A や投資に関する豊富な知見・実績を結集して、資本政策の立案、出資、および出資後の様々な成長支援の実施により、円滑な事業承継を実現することを目的としております。

当行グループは、今後とも地域金融機関の皆さまと共に、地域経済の要となる中小企業の円滑な事業承継を支援し、わが国経済の発展や地域創生に貢献してまいります。また、引き続きユニークで専門性の高いサービスの拡充に努め、“あおぞら”らしさに磨きをかけることで、“進化する「頼れる、もうひとつのパートナーバンク」”として、お客さまに対して付加価値の高いソリューションを提供してまいります。

<ファンド概要>

- ファンド名称 : サクセッション1号投資事業有限責任組合
(英文表記 Succession Investment Limited Partnership, I)
- 所在地 : 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
- ファンド総額 : 16億円(本日現在。ファイナルクローズ時点で30億円を予定)
- 無限責任組合員 : AJキャピタル株式会社
(詳細は、本日付ニュースリリース「ファンド運営会社「AJキャピタル株式会社」の設立について」をご参照ください。)
- 有限責任組合員 : あおぞら銀行、JAIC、鳥取銀行、きらやか銀行、富山銀行、宮崎太陽銀行
- 主な投資対象 : 日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

以上

(報道関係のお問合せ先：経営企画部 広報室 後藤 03-6752-1217)